



地元紹介

私たちの生活を支える身近な仕事

この中濃地域で私たちの日常生活を支えるサービスや仕事を、もっともっと知ってほしい。何気なく利用している地元のお店やサービス。それってどんな仕事なの？どんな人が働いてるの？身近なんだけど、なかなか知る機会がないこと。普段はあまりフォーカスされない分野にも積極的にスポットライトを当てて紹介します。

暮らしを支える「いつもの」職人さん



暮らしの中で「これどうしよう」と思ったとき。「とりあえず、いつもの人に頼んでみよう」それが地域に根付く職人さんという存在。佐藤さんは、電気工事や消防設備のプロフェッショナル。職人としての技術はもちろんのこと、何でも気軽に相談できる人柄も地域の人たちに愛されるポイント。日々の暮らしに欠かせない存在です。



- 真夏のイベント情報
- ★関市ふるさと夏祭り
7月26日(土)
関市本町通り商店街
 - ★関おどりん祭
in関市文化会館
8月1(金)
 - ★関市民花火大会
8月13日(水)
 - ★関おどりん祭
inわかくさ・プラザ
8月24(日)

株式会社にしき

地域のお祭りを盛り上げる影の主演

もうじき夏本番！夏と言えば、花火大会に盆踊り。私たちが毎年楽しみにしているイベントにはなくてはならない屋台。カステラやかき氷、たこ焼きにお好み焼き、じゃがバター。真夏の炎天下でも、高温の鉄板の熱さに耐えながら毎日どこかのお祭りで屋台に立ちます。連休も、お盆も、正月ですら休みなく縁日を盛り上げ、地元を支える縁の下の力持ちです。

profile



SD.craft 代表 佐藤 亮太さん

電気工事全般から消防設備、その他各種工事を取り扱う地域密着の職人業です。Instagramもぜひ覗いてください→



地元の人物紹介

聞いて、知って、考える。

富加町中心の60～80代の一座メンバー18人が、被災した輪島市と穴水町へ笑顔をお届けに慰問

スコップ三味線&おったま芸人一座
座長 坂井 久子さん

お話をうかがいました

profile



今年の4月に81才になった坂井さん。彼女が座長をつとめる一座は、60～80代のメンバーで公演を行い、毎年各所に笑顔をお届けしています。スコップを三味線に見立てて演奏。コントを織り交ぜつつ、時に観客を巻き込みながら絶妙なお笑いを届ける彼女たちの公演は多くの人に愛されています。5月20～21日に能登半島での慰問を終えた坂井さん。「明るい曲を演奏する私たちを見て、感動して涙する方がいらっしやっ。元気を届ける側の私たちは、笑顔で舞台に！そう意気込んでいたけど、その涙を見て、こちらも涙。温かい声をたくさんいただいて、こちらが幸せをもらったように思う。」そう話してくださいました。そして、今なお仮設住宅に暮らす方々や、復旧されていない公共設備、割れた道路に留まったままの車。坂井さんが実際に目にした現在の能登半島についても伺いました。トイレの水をバケツで組んで流さなければならないこともあったそうです。地元を離れて、そのまま戻ってこない若い世代も多いとのこと。お話を聞けば聞くほど、「まだまだ、何も終わっていない」そう感じるとともに、「終わっていないのに忘れはじめてしまっている自分」にも気付かされました。私たちには何ができるのでしょうか？具体的な行動を起こすことは難しいかもしれませんが、けれど、能登が復興をとげるまで、いつまでも気にかけて、いつまでも話題にし、坂井さんのような方々をいろんな角度から支援することならば、誰にでも可能だと思うのです。みんなで一緒に考えてゆきませんか？



本格機材を触っていじって 中高生向け電気制御ワークショップ
遊びながら電気制御が学べる！！

でんでん塾



『面白いを力に！』電気制御×鳴子踊り
文化と技術、ふたつの力で未来にパワーを！
中濃地域、長良川流域の地域コミュニティ



世代を超えて楽しむ鳴子踊り 地域密着 全世代型
メンバー大募集中！ 鳴子踊りチーム

ながら



発行：一般社団法人 電気と踊る寺子屋